

関東地区 12ヶ所の物流センターにて使用電力を 100%再エネ化 ～Senko Green Enerism 計画を発表～

センコー株式会社(本社:大阪市北区、社長:杉本 健司、以下「センコー」)は、2025 年 2 月 1 日より Senko Green Enerism 計画をスタートさせ、その皮切りとして、センコーが管轄する関東地区 12ヶ所の物流センターにて発電した再生可能エネルギー由来の電力(以下、再エネ電力)を活用し、実質 CO2 排出ゼロのセンター運営を開始しました。

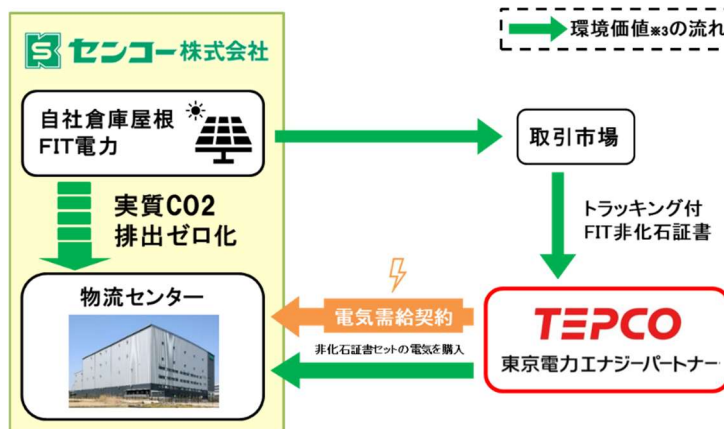
*1「Green Enerism」(グリーン エネリズム)とは、CO2 排出ゼロの電力を意味する「Green」、「Energy」と、主義、主張の意味を示す接尾辞「-ism」を掛け合わせた造語です。

対象となる物流センター12ヶ所

- センコー 野田第 2PD センター
- センコー さいたま PD センター
- センコー 栗橋 PD センター
- センコー 杉戸 PD センター
- センコー 浦和 PD センター
- センコー 厚木物流センター
- センコー 厚木ロジスティクスセンター
- 関越センコーロジ(株) 高崎物流センター
- アクロストランスポート(株) 秦野センター
- アクロストランスポート(株) 厚木中央センター
- アクロストランスポート(株) 東京センター
- 東京納品代行(株) 成田ファッションロジスティクスセンター II

Senko Green Enerism 計画とは、脱炭素社会の実現を目的に再エネ電力を活用し、実質 CO2 排出ゼロの物流センターを構築する新たな取り組みです。この度、自社倉庫屋根で発電した電力の環境価値を証書化した「トラッキング付 FIT 非化石証書」を活用し、センター全体の使用電力を 100%再エネ化することで電力の自給率を高めます。この取り組みに伴う年間排出削減量は約 4,700t-CO2 を見込んでおり、約 1,800 世帯の年間 CO2 排出量に相当します^{*2}。加えて、自社の CO2 排出量削減により、お客様のサプライチェーン全体の CO2 排出量削減に貢献します。

*2 出典:環境省「令和4年度 家庭部門の CO2 排出実態統計調査 結果の概要(確報値)」の 1 世帯当たりの年間排出量 2.59t-CO2 より試算。



*3 環境価値:再生可能エネルギーなどのエネルギーを持つ、CO2の排出がないという付加価値のことを指す。

(倉庫で発電した再エネ電力を物流センターで利用するフロー図)

センコーは、再エネ自給率の向上によって CO2 排出ゼロの物流センターを拡大していく考えです。